

科目名	政治・経済			担当教員	細谷 守, 小西 礼子		
学年	3 年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	09G03_20030	単位区別	履修単位
学習目標	1. 国のあり方を謙虚に探求し,平和と繁栄に貢献しうる人格を陶冶する。 2. 現代における政治・経済・社会の基本的な知識を習得する。 3. 現代社会の諸課題を公正に判断し,主体的に取り組む能力と態度を身につける。						
進め方	各学習項目ごとに教科書を中心に基本事項を説明, 板書,プリント配布等を通じて理解させる。 各学習項目ごとに班別構成をし, 関心ある事項を決定させ,班員が協力し合い調査, その項目をプリント等にまとめ発表する学習時間を設ける。担当教員と学生,学生と学生が意見を交換し合い, 多様な社会のあり方と公正とは何かを考察させる。						
履修要件							
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 政治とは何か（2）			政治と国家, 民主主義思想を説明できる。			
	2. 人権とは何か（2）			基本的人権は何かを説明できる。 A1:4			
	3. 日本国憲法について（2）			憲法の基本原理を説明できる。 A1:4			
	4. 平和と安全（2）			憲法 9 条に関して説明できる。 A1:3			
	5. 平等と自由（2）			法の下での平等と自由権を考察できる。 A3:4			
	6. 国会・内閣・裁判所について（3）			日本の政治の仕組みを理解できる。 A1:4			
	7. 政党と選挙制度（2）			政党政治の仕組みを説明できる。 A1:3			
	8. 前期中間試験（1）						
	9. 試験問題の解答, 経済とは（2）			経済の仕組みと変容を理解できる。 A1:3			
	10. 経済主体と経済活動（2）			3 つの経済主体と企業の役割を説明できる。 A2:1			
	11. 市場経済と景気変動（2）			市場メカニズムと競争のあり方を考察できる。			
	12. 財政の仕組み（2）			財政の役割について説明できる。 A3:1			
	13. 金融について（2）			景気状況と公定歩合の関連を説明できる。			
	14. 日本の経済（2）			日本経済の発展を考察できる。 A3:1			
	15. 国際経済の諸課題（2）			国際収支, 資本移動を考察できる。 A3:4			
	16. 前期末試験（1）						
	17. 試験問題の解答と授業評価アンケート（1）						
	18. 少子高齢社会と社会保障（2）			高齢化問題を説明できる。 A3:2			
	19. 住民生活と地方自治（2）			住民生活の向上を考察できる。 A1:4			
	20. 産業構造の変化と中小企業（2）			産業構造の変化を説明できる。 A1:1			
	21. 農業と食糧問題（2）			低い食料自給率の問題点を説明できる。			
	22. 消費者問題と消費者保護（2）			消費者のあり方を考察できる。 A3:1			
	23. 労使関係と労働市場（2）			今日の労働問題を指摘できる。 A3:2			
	24. 後期中間試験（1）						
	25. 試験問題の解答, 地球環境問題（2）			環境保全の考え方を身につける。 A1:2 原子力に関しての問題点を示せる。 A2:2			
	26. 資源・エネルギー問題（2）			核兵器の問題点を指摘できる。 A3:3			
	27. 核兵器の廃絶と軍縮（2）			人間の尊厳を考察できる。 A1:4			
	28. 人種・民族問題（2）			発展途上国の自立への関心を持つ。 A1:4			
	29. 南北問題と国際協力（2）			貿易のあり方を考察できる。 A1:3			
	30. 経済摩擦と外交（2）			人類全体の利益追求を考察できる。 A3:4			
	31. 国際社会における日本の役割（2）						
	32. 学年末試験（1）						
33. 答案返却と解答（1）							
評価方法	定期試験,作業活動・課題レポートの提出等で総合評価する。						
関連科目	法学, 倫理・社会,歴史,地理, 哲学						
教材	教科書：坂上順夫 他 著「高等学校 改定版 新政治・経済」						
備考	特になし						